

製品名: Rab 1B ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16743**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	22kDa

抗原情報

遺伝子名	RAB1B
別名	RAB1B; Ras-related protein Rab-1B
遺伝子 ID	81876.0
SwissProt ID	Q9H0U4
免疫原	Rab 1B 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 50-130

背景

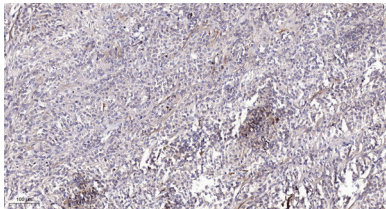
RAB タンパク質ファミリーのメンバー (RAB1B など) は、異なる膜結合型細胞小器官の細胞質表面に局在する低分子量の単量体 GTPase です。RAB1B は初期分泌経路で機能し、小胞体 (ER) とゴルジ体間の小胞輸送に不可欠です (Chen et al., 1997 [PubMed

9030196]; Alvarez et al., 2003 [PubMed 12802079]). [OMIM 提供、2009年1月],機能:タンパク質輸送。小胞体とそれに続くゴルジ体区画間の小胞輸送を制御します。、その他:Rab-1BはGTPおよびGDPに結合し、固有のGTPase活性を持ちます。、PTM:プレニル化;GGTase IIによって、基質がRabエスコートタンパク質1 (REP1)と相互作用した後にのみ、分解される。、類似性:小型GTPaseスーパーファミリー (Rabファミリー)に属する。、細胞内局在:REP1によって、小胞体、ゴルジ体、およびこれら2つの区画間の中間小胞を含む特定の細胞内区画の膜に標的化される。GDP型では、細胞質内でGDIと共局在する。、サブユニット:MICAL1、MICAL2、およびMICAL3と相互作用する。GDI1と相互作用する場合、相互作用にはGDP結合状態が必要である。CHM/REP1と相互作用する場合、相互作用にはGDP結合状態が必要であり、GGTase IIによるプレニル化に必要である。、

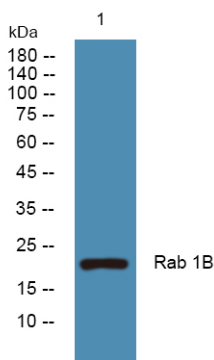
研究分野

シグナル伝達経路; Gタンパク質シグナル伝達; 低分子Gタンパク質; Rasファミリー; シグナル伝達; タンパク質輸送; 小胞輸送; 調節

画像データ



パラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。1、抗体を1:200に希釈した(4°Cで一晩)。2、抗原賦活化にはTris-EDTA、pH9.0を使用した。3、二次抗体を1:200に希釈した(室温、45分)。



SH-SY5Y細胞溶解液のウェスタンブロット分析、Rab 1Bウサギポリクローナル抗体を1:1000に希釈し、4°Cで一晩